

一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な事柄について、議員が提言も含めて町に考えを聞きます。

今回の一般質問で、あなたの生活に関わる内容はありますか？



16人中13人が登壇

町政を問う！

一般質問

6月10日・11日

YouTubeにて議会映像 配信中！



各議員の記事に掲載の二次元コードを読み込むと、その議員の一般質問の様子を動画でご覧いただけます。ぜひ、ご視聴ください！

CONTENTS

くらし

- ・地域の環境問題解決につながる地域猫活動への支援を **杉下久仁子** P9
- ・窓口業務における住民サービスの充実にむけて **赤川 操恵** P11

健康・福祉

- ・マイナ保険証について **三浦 雄二** P7
- ・多世代への聞こえの保障、補聴器購入費補助制度等の支援を **杉下久仁子** P9
- ・軟骨伝導イヤホンの導入について **秋葉富士子** P11
- ・発達障害児の支援について **秋葉富士子** P11
- ・熱中症対策について **秋葉富士子** P11
- ・高齢化社会をどう乗り切るか伺います。 **山田 眞悟** P12

安全・安心

- ・本町の「災害避難支援体制」を問う **長坂 知泰** P7
- ・防災・減災を目指して **間瀬 元明** P8
- ・役場庁舎における防犯対策について **赤川 操恵** P11
- ・南海トラフ巨大地震への防災・減災対策の早急な整備推進を **北野 興地** P12
- ・犯罪抑止による安心安全なまちづくりについて **北野 興地** P12

まちづくり

- ・JR 尾張森岡駅周辺の物流倉庫建設に伴う道路と環境変化について **森 靖広** P9
- ・東浦町公共施設再配置計画について **久松 純志** P10
- ・都市計画道路の整備について **久松 純志** P10
- ・東浦町緒川地区の再開発まちづくりについて **山下 享司** P10

子育て・教育

- ・小中学校の照明用の蛍光灯のLED化について **大川 晃** P8
- ・小中学校トイレの洋式化について **大川 晃** P8
- ・学校へ行けない、行かない児童生徒への対応 **杉下久仁子** P9
- ・子どもを被害者にも加害者にもさせないアプリの活用 **赤川 操恵** P11
- ・教員の多忙化解消について **前田 明弘** P13

その他

- ・東浦町の情報発信について **三浦 雄二** P7
- ・有効活用して！役場北側の土地 **間瀬 元明** P8
- ・持続可能な行政運営「業務改善」について **森 靖広** P9
- ・孫休暇の導入で育児をサポート **前田 明弘** P13

Q マイナ保険証^①について



みうら ゆうじ
三浦 雄二
議員



A マイナ保険証へ移行促進を図る

Q 現在の本町のマイナ保険証登録者数と被保険者数に対する割合は。

A 本町で把握可能な国民健康保険と後期高齢者医療保険の被保険者のうち、健康保険証の登録者数は令和6年3月末時点で4904人、被保険者数に対して60・2%。後期高齢者医療保険の登録者数は4月15日時点で4353人、57・4%になる。

Q 6年12月2日で現行の健康保険証が廃止になるが、最高で1年間の猶予期間もあり、また資格確認書で医療機関に受診できることについての見解は。

A 廃止前に発行された健康保険証については、6年12月2日から1年間の経過措置が設けられている。廃止後も資格確認書を発行し、マイナンバー未取得者等が引き続き受診できるよう、仕組みの整備を進める。

一 東浦町の情報発信について

Q 6年度から毎月、町の最新情報を伝えるために定例記者説明を開催しているが、どのように町に生かしていくのか。

A 定例記者説明は、定期的に町関連情報を町長から直接、報道各社へ説明し、意見交換が行える場を設けることで、町が行う取り組みの認知度向上および各情報媒体への露出機会の拡大が目的。

町の事業や取り組みを発信することで多くの情報を町内外に知っていただくきっかけとすることや、報道機関視点の意見から新たな気付きを得る機会としている。



Q 避難行動要支援者^②の総人数は



ながさか ともやす
長坂 知泰
議員



A 約2400人である

二 災害避難支援体制を問う

Q 町の避難場所標識に災害種別一般図記号と適不適マークの表示を要望する。

A 「災害種別避難誘導標識システム」と「愛知県避難誘導標識等設置指針」に従い計画的に更新を行うほか、災害リスクやハザードの表示看板の設置等を進めたいと考えている。

避難場所標識の代表的記載例



出典：「防災標識ガイドブック」
一般社団法人 日本標識工業会

Q 「あいち健康の森健康科学総合センター」を福祉避難所として協定等を結ぶ考えはないか。

A 指定福祉避難所の機能強化、充実につながるものと認識している。

今後、愛知県の意向を確認のうえ、検討を進めていく。

Q 避難行動要支援者の名簿台帳の総人数は。そのうち平常時の避難支援関係者との名簿情報の共有に同意登録している人、登録していない人の人数と割合は。

A 総人数は令和6年4月1日現在、約2400人である。そのうち登録人数は661人、約28%。未登録は約1740人、約72%である。

Q 財政負担、管理負担の面から、「東浦町メルカリShops」で賞味期限の近い備蓄物資を販売する「官民共同型のローリングストック」^③を要望する。

A 賞味期限が近づいた災害備蓄品は、これまで自主防災会の防災訓練時や子ども食堂等に配布してきたが、メルカリShops等フリマアプリを活用した売り払い等も、財源確保やローリングストックの観点から積極的に取り組んでいく。

語句説明 ①マイナ保険証…マイナンバーカードを健康保険証として利用できるよう一体化したもので、災害時に自ら避難することが困難な人 ②避難行動要支援者…高齢者や障がい者等、災害時に自ら避難 ③ローリングストック…備蓄物資を古いものから消費し、消費分を買い足して常に一定量備蓄する方法

Q 有効活用して！

役場北側の土地



ま せ もとあき
間瀬 元明
議員



A 将来計画検討時に考えていく

Q 北側用地の草刈り回数、また防草シート設置理由と内容は。

A 草刈りは年2回実施。法面が急斜面で草刈りをするには危険なため、道路側法面の約300mにポリエステル不織布、20年耐用の防草シートを5月に敷設した。

Q 応急給水活動の事前対策は。

A 「東浦町業務継続計画（BCP）」^①および「応急給水をはじめとする災害時水道緊急対応マニュアル」で活動手順を定めており、給水拠点の決定、運搬給水の方法、協定に基づく圏域水道事業者への応援要請等備えている。

Q 役場庁舎と半田消防署東浦支署の複合化は2043年に完了するか。

A 東浦町公共施設再配置計画にて2034年から2043年の10年間に整備することを目指している。

「行政しかできない災害対策は」

Q 令和6年1月から町職員が石川県に派遣されたが、本町の大規模地震の事前対策は。

A 大規模災害時は家屋被害が多発するため、家屋被害認定の研修で知識・技術のある職員を増やしたい。また、家屋図面の電子化と被害認定システムの重要性を把握。外部からの応援を受け入れるための受援体制を見直す。



▲大規模地震災害に備えての応急給水活動

Q 地震での倒壊を防止するためのブロック塀撤去補助金交付件数は。

A 平成30年度32件、令和元年度19件、2年度11件、3年度10件、4年度・5年度各6件。

Q 小中学校の蛍光灯

ランプのLED化



おおかわ あきら
大川 晃
議員



A 森岡小と東浦中は見送る

Q 小中学校の40W2灯型蛍光灯灯具の総数は。

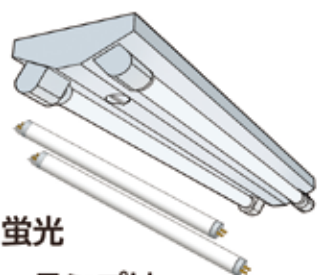
A 合計6088灯。

Q 取り替えた蛍光灯灯具や蛍光灯ランプを予備として保管する考えは。

A 必要な維持管理経費等の課題があるため、現計画では処分する。

Q 体育館のLED化の計画は。

A 計画はないが、平成27年度に改修し設置している器具やランプの経年劣化等、現場の状況を注視し、適切な学習環境ができていくか確認しながら、計画的に検討していかねければならない。



蛍光
ランプは、
令和9年以降は、製造
されません。

「小中学校トイレの洋式化について」

Q トイレ洋式化に対する見解は。

A 洋式化の普及に伴い和式便器を利用できない児童生徒がいる。児童生徒の利用頻度の高い、普通教室の隣接場所を優先的に整備していく。

Q 体育館に併設されているトイレの洋式化率は。

A 藤江小・生路小・片葩小0%、石浜西小50%、緒川小67%、卯ノ里小33%、森岡小40%、東浦中17%、北部中29%、西部中25%。

Q 学校施設の整備で基金の取り崩しや起債することへの見解は。

A 必要な事業実施で財源が不足する場合、財政調整基金の取崩しで対応。住民負担の世代間公平のため、交付税措置の対象となる起債もあるため財政の健全性を保ちつつ起債する。

Q JR尾張森岡駅周辺の 環境変化は



もり 森 靖広
議員



A 物流倉庫建設が予定されている

Q JR尾張森岡駅周辺の物流倉庫建設に向けた協議において、今後予想される交通状況の変化についての課題は。

A 物流倉庫建設に向け、現在知多建設事務所、県公安委員会、開発事業者において、交通渋滞対策の具体的な協議が実施されている。本町としては、周辺交通への影響を最小限に止めるよう、開発業者に要望している。

Q 森岡工業団地南交差点の課題と今後の進め方は。

A 現在の用地取得状況は、用地交渉が難航しているため工事着工に至らない。引き続き県と連携し、各地権者から理解・協力が得られるよう調整を図っていく。

Q 森岡駅西交差点の改良工事進捗と今後の進め方は。

A 森岡駅西交差点から森岡工業団地南交差点の間は、森岡工業団地南交差点において、交通量の多い、平日の朝と夕方の時間帯に町道森岡線に右左折待ちの車両が滞留し渋滞しそれが常態化している。交差点の整備についても引き続き県へ要望していく。



▲ JR 尾張森岡駅周辺の道路状況
尾張森岡駅東側に物流倉庫建設予定

「行政運営」業務改善について

Q 改善という切り口で他自治体と交流または民間企業とコラボレーションした取り組みとしてはどうか。

A 先行自治体の事例を参考に業務改善制度の設計を進めた。民間企業や大学との連携協定はあるものの、改善を切り口とした取り組みはないので今後検討したい。

Q 補聴器購入 補助制度の導入を



すぎした くに子
議員



A 明確なエビデンスあれば検討

Q 高齢者の健康診査で聴力検査を取り入れ、加齢性難聴の早期発見と予防につなげる考えは。

A 国の「難聴への対応に関する連絡会議」では、難聴に関する健康診査を対象にするかどうか検討が必要であり、必要な知見を収集していくとのこと。本町では実施する予定はないが、国の動向を注視していく。

Q 高齢者の社会参加の促進や就労、介護予防につなげるためにも補聴器購入費補助制度導入の考えは。

A 難聴と認知症の因果関係につなげる研究結果は公表されていない。補聴器の使用が認知症予防につながると明確なエビデンスが示された場合は、必要性について検討したい。

「学校へ行けない児童生徒への対応

Q フリースクール^①等を利用した場合、町教育委員会としてガイドラインの作成や連携について方針を示す考えは。

A フリースクールへの登校は各学

校長が出席と認めれば出席扱いとするという方針を示している。

また、子どものサードプレイス^②やオルタナティブスクール^③との連携を進めることも検討していく。

Q 地域の環境問題解決と地域猫活動

A 所有者のいない猫を地域の中で「適正管理すること」で、地域住民との共生を認め、所有者のいない猫の問題を自分たちの地域の問題として捉え、トラブル解消・環境美化を図っていく有効な方法であると認識。



▲ 地域猫活動の流れ

語句
説明

① フリースクール…不登校の子へ学習活動、教育相談、体験活動等している民間施設 ② サードプレイス…自宅や職場とは隔離された心地のよい第3の居場所
③ オルタナティブスクール…フリースクール等公的な学校教育のシステムに捉われない独自の理念や手法を取り入れた学校

Q 公共施設

再配置計画とは



ひさまつ ただし
久松 純志
議員



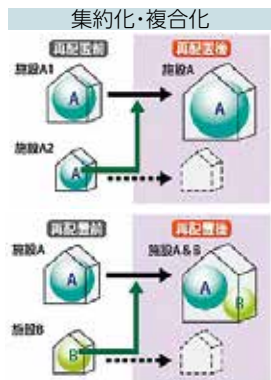
A 公共施設再編の基本的な方針

Q 公共施設の将来財政負担軽減に資する考えは。

A 現在の公共施設を今後も維持することは非常に困難な状況。

施設の多くは、高度経済成長期に建設され、今後一斉に更新時期を迎え、建て替えや維持管理に多額の費用が必要になることが見込まれる。集中的に建設された施設の更新は複合化・集約化等の事業が同時期に集中し、現実的に全ての事業の実施は困難であるため、事業の平準化を踏まえたロードマップを設定している。

再編可能なものは既存の公共施設を利用・改修する等、各施設の再編時期に限らず、着手可能な取り組み



▲集約化・複合化イメージ
(出典：東浦町公共施設再配置計画)

から随時実施し、将来の財政負担軽減を図る。

Q 再編プランの住民意見の集約は十分か。

A 検討の必要な時期・段階で関係各所へニーズ調査を行った。適切な意見聴取であったと認識。

Q 一事業当たりの工程は。またモデル事業の全町・地区拠点施設の複合化・集約化の計画は。

A 基本構想・基本計画、基本設計・実施設計、施工で期間はおおむね6年。全町拠点施設の東浦中学校・東浦文化広場は令和7年度、地区拠点施設の森岡地区は6年度から基本構想・基本計画を策定予定。

一都市計画道路の整備

Q 事業終結までの課題は。

A 優先度が高いものから計画的に整備しているが、地権者等地元の合意形成や安定した財源確保が必要。

Q 緒川地区

国道366号整備を



やました きょうじ
山下 享司
議員



A 事業の進め方について県と協議

Q 平成6年東浦役場東交差点開通、18年には緒川家下交差点供用開始、緒川北交差点改良が実施され交差点が拡幅された。国道366号の東浦役場東交差点から緒川北交差点までの都市計画道路大府半田線の拡幅整備を。

A 町内延長7・6kmで緒川地区幅員16mの2車線道路の計画。整備済み区間は大府市界から東浦森岡交差点付近までと、東浦役場東交差点から石浜交差点までの延長2・1kmの整備が完了している。

本路線の整備については、他の道路整備の進捗状況を勘案し、事業の進め方について県と協議していく。

一緒川駅周辺の再開発まちづくりを

Q 緒川駅周辺の、将来の人口増加・活性化を求める再開発等まちづくりの本町の考えは。

A 駅周辺は、大学・短期大学・専門学校のサテライトキャンパス^①や、任意の独自施設として飲食店等や業務施設を位置付けている。緒川駅西側は、市街地再開発事業ができる区域で、この事業は地権者が再開発組合を作り、国や市町村の支援・補助を受けて自ら実施する。地権者の意向や地元の機運が高まれば、必要な支援を行う。

Q おじょう坂^②の道路拡幅計画の状況、郷蔵解体後、拡幅の考えは。

A 歩道を含め幅員8mの拡幅計画。郷蔵跡地の南側の公共用地と合わせて、一定区間の道路拡幅工事を令和6年度実施する予定。



▲緒川地区366号交差点改良(一部拡幅済み)

語句
説明

- ①サテライトキャンパス…教育機関の本部から地理的に離れた場所に設置されたキャンパス
②おじょう坂…町道養父森岡線の緒川小学校南門から東方面への坂道の通称

赤川

秋葉

秋葉

Q 防災等対策の 早急な整備推進を



きたの こうじ
北野 興地
議員



A 早期耐震化等取り組む

Q 水道管の耐震適合率^①の現状と改善に向けた今後の推進方策は。

A 耐震適合率は、耐震管率と同じ29・6％であり、全国平均と同等の整備水準にある。今後の推進方策は、避難所等への給水管路である重要給水施設配水管の耐震化を優先して進める。

Q 避難施設としての小中学校体育館への空調導入は、喫緊の課題と認識し、早急な導入の考えは。

A 体育館は断熱性も低く、災害時にも使用可能な施設とするため、費用対効果を考えた空調設備を検討する。導入には多額な費用を要するため、国等の補助金等を最大限活用し早期整備に向け検討する。

Q 犯罪抑止で
安心安全なまちづくりを

Q 年々増加傾向にある刑法犯等犯罪の発生状況分析は。

A 自転車盗と特殊詐欺が特に増加している。自転車盗は令和元年比

学区	件数	予想利用駅
森岡	4	尾張森岡駅
緒川	23	緒川駅
卯ノ里	0	巽ヶ丘駅
石浜西	1	石浜駅
片葩	11	石浜駅
生路	1	東浦駅
藤江	5	東浦駅

▲小学校区別
自転車盗被害状況(令和5年)

45・2％増で駅や店舗等駐輪場の無施錠自転車が多い。特殊詐欺は半田警察署管内で元年比355・6％の増加。

Q 教育委員会や各中学校、町等から半田警察署に対して自転車盗等各種犯罪被害防止講話や老人クラブへの特殊詐欺被害等防止講話等の依頼を提案するが見解は。

A 警察官から中学生やゆうゆうクラブ^②等への講話は、犯罪被害抑止等につながるものと考えている。半田警察署と連携を図りながら、犯罪被害抑止や交通事故防止等に努め、安心安全なまちづくりを目指す。

Q 高齢化社会を 乗り切るには



やまだ しんご
山田 眞悟
議員



A 包括支援事業の推進

Q 町の住民意識調査では超高齢社会に対する不安と重要性が高い。高齢者の介護施策を介護保険でフォローできるか。

A 知多北部3市と広域連合でスケールメリットを生かした介護サービスの提供を進めている。超高齢社会でも介護保険制度による安定した介護サービスを提供し、包括的支援事業を推進することで、高齢者が安心して生活することができると。

Q 介護保険料の引き上げは。

A 一カ月当たり基準額5533円が6283円となった。

Q 介護施設の受け入れ態勢は

Q 介護施設は介護保険スタート時期と比較してどれほど増加したか。

A 介護老人福祉施設では4施設から14施設、介護老人保健施設では3施設から7施設に増えている。認知症対応型共同生活介護施設等地域密着型の居住系サービスを含め70施設ある。

Q 認知症の方へのサービスは。

A 「認知症高齢者等登録事業」「行方不明高齢者等家族支援事業」「認知症高齢者等賠償事故補償保険」等の制度により認知症の方でも安心して外出できる支援体制がある。

Q 補聴器購入補助を

Q 「加齢性難聴者」への補聴器購入費補助制度を求めるが見解は。

A 認知症予防につながる根拠が明確になれば、補聴器購入費助成の必要性を検討したい。



Q 孫休暇導入で 育児サポートを



まえだ あきひろ
前田 明弘
議員



A 子育て部分休暇を今年度導入

Q 孫休暇制度導入の考え方と職員へのアンケートを実施する予定は。

A 職員が自身の孫の看護や育児に専念するために休暇を取得できる孫休暇は全国の自治体では、宮城県や神奈川県、三重県桑名市等で導入されている。現在、職員から孫休暇制度新設の相談や要望はなく、既存の休暇制度で対応できていると認識している。そのため、職員に対するアンケート調査を実施する予定はない。

一教員の多忙化解消は

Q 働き方改革の内容は。

A ①教員が勤務時間を入力し、超過勤務しないよう意識付け②管理職が超過勤務状態解消を目指す指導を実施③教員へ働き方を工夫するよう指導し、管理職には働き方改革を進めるよう指導。

Q 多忙化解消プランで教員のどのような業務が解消されたか。

A 昨年9月にひがしうら地域クラブ^①が立ち上がり、町内3中学校では、土日の部活動は原則行っていない。3中学校の最終下校時間を早める、朝の時間帯の部活動をしない等部活動指導関連の負担が軽減された。



Q 本町職員の共働き世帯が増えるなか、育児サポートの要望は。
A 現在、職員から育児サポートの

議会 トピックス

GIKAI TOPICS

定例会だけじゃない！
議会の動き

5/17
金

石浜西小学校を見学しました！

施設や授業を見学し、児童のみなさんとも交流することができました。議員の仕事や議会に関心を持ってもらえたらうれしいです。今後も住民のみなさんとの交流を大切にして活動してまいります。



6/26
水

ようこそ東浦町へ！ 南会津地方 町村議会議長会が視察来庁



議長が歓迎あいさつし、職員が「本町の豊かな自然」を説明。於大公園と自然環境学習の森を歩き、取り組みへの理解を深められていました。

6/14
金

道路等の整備を 要望しました



東浦町の建設事業総合要望に関する意見交換会が開催され、道路等の整備事業が推進されるよう議長が町長とともに県へ要望書を提出しました。



車内を見学し説明を聞きました。電気だけで走るバスはカーボンニュートラル社会に対応でき、災害時には非常電源として活用できます。見学会で得た知見を町の交通行政に活かしていきます。

6/6
水

EV観光バスの見学会に
参加しました！

語句
説明

①ひがしうら地域クラブ…中学校の部活動とは別に、教育委員会が運営し、地域の方々が指導者となって活動する新しい形のクラブ